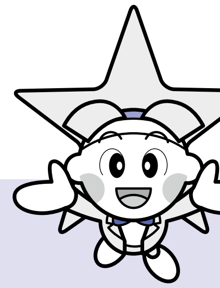
晴れの国おかやま　文化回廊

あっ晴れ！おかやま国文祭

第25回国民文化祭・おかやま2010　平成22年10月30日（土）～11月7日（日）



Vol.5　美術展（写真）

今秋、岡山県で開催される国民文化祭まであと２００日を切りました。今回は津山市で開催される６つの事業のうち、美術展（写真）について紹介します。

国文祭の美術展（写真）

全国から写真作品を募集し、入選作品の展示と表彰式が行われます。賞は文部科学大臣賞ほか10賞あり、応募に関して年齢制限などはありません。

▲キッズフォトスクールの様子

美術展（写真）に向けて、国文祭実行委員会は小学生を対象にした「キッズフォトスクール」を３月に開催し、子どもたちに写真の面白さを伝えるとともに、その作品をアルネ・津山の地域交流センターに展示しました。

また、続くワークショップ第２弾として、６月12日(土)には中学生以上を対象にした「デジタルカメラ入門講座」を予定しています（23ページに関連記事あり）。

国文祭の美術展（写真）を通して、写真をもっと身近に、そして写真の魅力を感じてほしいと思います。

美術展（写真）

- **とき**　10月30日(土)～11月7日(日)
- **ところ**　市立文化展示ホール（アルネ・津山４階）
- **募集作品**　半切・Ａ３（Ａ３ノビ可）のモノクロまたはカラープリントとし、単写真に限ります
  ※１人２点以内
- **応募方法**　詳しくは、市ホームページをご覧いただくか、国民文化祭推進室までお問い合わせください
  ※年齢は問いません

問い合わせ先　国民文化祭推進室℡32-7001

けんこう広場

環境の変化に適応するために

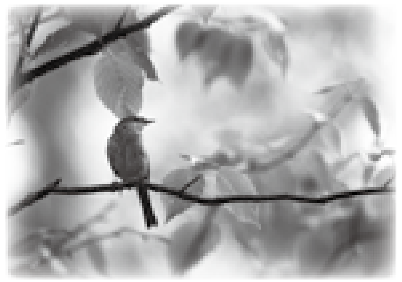
新年度が始まり、新しい環境や新しく出会った人たちとの人間関係などで緊張したり、気疲れしたり…。慣れない環境で頑張り過ぎて心も体も限界を感じてはいませんか？
もし、疲れたなと感じていたら、ちょっと一息ついてみましょう。

≪心が疲れたときの対応法≫

①まずは自分を褒めてあげましょう
新しい環境や人間関係にしっかりと向き合った結果です。頑張った自分を褒めてあげましょう

②焦らない・考え過ぎない・悲観しない
自分なりのペースで新しい環境に慣れていきましょう

③自分を見つめ直すきっかけにしましょう
「やる気が出ない」のはなぜか、「自分の抱えているストレス」は何だろうなど、自分に目を向けてみましょう



健康つやま21では、重点戦略６カ条の中で「こころもからだもリフレッシュ、上手にストレス解消を」というスローガンを掲げています。新しい生活を自分らしく過ごしていくために、自分自身のことや将来のことなどをもう一度ゆっくり考え直す機会にしてみましょう。

問い合わせ先　健康増進課℡32-2069

くらし

子どものこころ　親のこころ

－そのままの存在を認めよう－

「みんなと仲良くしましょう」「みんなやっているでしょ」

大人が子どもたちによく使う言葉です。ところが、思春期に差し掛かると『そんなの無理』『なんか変』と思うようになってきます。一人のほうが好きな子にとっては“酷”な言葉になるし、友だちといるほうが好きな子にとっては“余計なお世話”な言葉になってくるようです。

一般的に思春期の反抗は、成長過程において必要であり、健康的な育ちといわれています。親に対して不機嫌な態度をとるくらいで済んでしまう子もいれば、どの大人に対しても反発した言動をとってしまう子もいるでしょう。

その一方で、思いも寄らない言葉や出来事によって、人が信じられなくなる子や自信を失い自分を追い詰めてしまう子もいます。皆と同じようにしないといけないことに疲れ果ててしまう子もいます。そのことが、体調が悪くなったり、学校を休んだり、問題行動を起こしたりするきっかけになることもあります。我が子がこのような状況になったとき、親はつい原因探しをしてしまいがちですが、それがかえって子どもを追い込んでしまうことになってしまいます。

苦しいときこそ、我が子の良いところに目を向け、誰かと比べずにそのままの存在を認めることが何よりも大切なのではないでしょうか。そのほうが親と子の関係も少し楽になるように思います。

教育相談センター「鶴山塾」 山下87番地℡22-2523（にこにこ　にっこりさん）	学校のこと、友だちのこと、 家族のこと、気軽に相談してください

おしえて　エコろじー

岡山県統一ノーレジ袋デーが始まります

レジ袋削減を通じて、ごみの減量や環境に優しいエコ・ライフスタイルの普及を目指し、岡山県では６月から毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、県下一斉にマイバッグ持参の声掛けなどの啓発活動を集中的に行うことになりました。

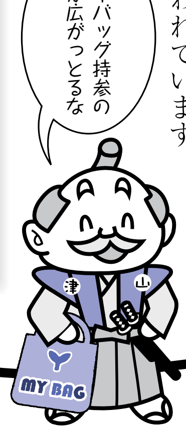
市では、これまでマイバッグ持参のポイント制度「つやまエコシステム」を実施するなど、レジ袋削減に取り組んできました。今回はさらに、県と県内市町村がこの取り組みに協賛する事業者と協力して、消費者にマイバッグの持参を呼び掛けていきます。

この取り組みに協賛する事業者は県ホームページ（循環型社会推進課）で確認できます。

▶このステッカーやのぼり旗のあるお店が参加店の目印

レジ袋は1年間に1人当たり３００枚も使用されているといわれています。標準的なレジ袋を1枚断ることで62グラムの二酸化炭素の削減が可能であり、これは車のアイドリングを5分短くしたときの排出量の削減に相当するといわれています。

買い物に行くときはマイバッグを持参して、レジ袋の削減に努めましょう。



環境奉行「エコ呂爺（ろじい）」

問い合わせ先　環境事業所℡22-8255